

会計名 一般会計			市民講座開設事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	小垣江市民センター		
10	5	8					担当係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習機会の充実							
	目的	多様化する市民の学習要求に応え、誰もが気軽に学べる機会と場所を提供し、生涯学習の推進と支援を図る。			主たる内容	市民ニーズの把握に努め、各種講座を前期と後期に分けて約3か月間で開設し、市民が気軽に学習活動に参加できる場を提供する。				
	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画								
	位置づけ	根拠法令	社会教育法							
	対象者	市内在住・在勤または在学の人			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		・市民講座開設数 6講座 ・市民講座受講者数 111人		・市民講座開設数 3講座 ・市民講座受講者数 46人 ※前期3講座中止		・市民講座開設数 6講座 ・市民講座受講者数 73人		・市民講座開設数 6講座 ・市民講座受講者数 104人		
成果		受講者の知識・教養の向上、技能の習得に資すると共に、学習者相互のふれあいの場を提供することにより、生涯学習活動の推進に貢献することができた。新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を行い無事に開催することができた。								
課題		市民講座修了後の受講者の施設利用を考慮に入れ、受講者による自主サークルへの参加や新たな自主サークル結成の促進を図る必要がある。								
指標		指標名称（単位）				実績値			目標値	
成果指標	市民講座受講者数（人）				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
指標					111	46	73	104	120	
他市との比較検証	近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、市民が多様な学習機会の提供を受けることができるよう、地域の特性や公共的課題を鑑み、多種多様な講座を開催し、生涯学習の推進を行っている。									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①		624	335	689	699	合計		688,921 円	
	財源	特定財源	93	32	61	87	報償費	492,000 円		
		一般財源	531	303	628	612	需用費	99,281 円		
	職員人件費 ②		4,236	2,053	4,164	4,166	役務費	16,000 円		
	総事業費（①+②）		4,860	2,388	4,853	4,865	使用料及び賃借料	81,640 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	3年度特定財源名称				
3年度までの累積事業費			0	講座受講料						
5年度以降の事業費見込			0							

会計名			市民講座開設事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	小垣江市民センター
款	項	目		担当係	
10	5	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしており必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	各種講座の開催により市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	時代の変化に対応したプログラムの提供など、市民の生涯学習活動を支援するために市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	各種講座を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き各種講座を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名 一般会計			学習発表会実施事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	小垣江市民センター		
10	5	8					担当係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	小垣江市民センターの利用団体が日頃の学習成果を発表・展示することにより、学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図る。			主たる内容	学習成果の発表・展示、芸能音楽の発表、茶会等を年1回、小垣江市民センター全館で実施する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	社会教育法						
		対象者	小垣江市民センター利用団体及び地域住民		事業期間	平成2年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 D 実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		2月9日（日）開催 ・参加団体数 20団体 ・参加者数 228人 ・入場者数 708人		2月14日（日）中止		2月13日（日）中止		2月上旬開催 ・参加団体数 20団体 ・参加者数 250人 ・入場者数 750人		
成果		・新型コロナウイルス感染症が拡大するなかで、参加意思確認のアンケートを実施した。 ・12月に第1回打合せ会を実施し、1月に第2回打合せ会を実施した。第5波が到来したことにより、参加を辞退する団体が増え、第2回打合せ会で開催中止を決定した。								
課題		・コロナ禍で開催する場合に感染防止対策の具体的な方法や役割分担などを検討する必要がある。 ・コロナ禍であっても活動内容の発表が行える方法を検討する必要がある。								
成果指標		指標名称（単位）		実績値			目標値			
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度			
成果指標	参加団体数（団体）		20	—	—	20	22			
成果指標	来館者数【参加者数+入場者数】（人）		936	—	—	1,000	1,100			
他市との比較検証	近隣市（安城市）においても公民館単位で、利用団体が学習成果を発表する「公民館まつり」を年1回開催し、地域の生涯学習活動の啓発を行っている。※令和3年度は3館が開催し7館が中止となった。									
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①		341	0	15	342	合計	15,088 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	15,088 円		
		一般財源	341	0	15	342				
	職員人件費 ②		2,773	224	1,211	2,727				
	総事業費（①+②）		3,114	224	1,226	3,069				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
3年度までの累積事業費		0								
5年度以降の事業費見込		0								

会計名			学習発表会実施事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	小垣江市民センター
款	項	目		担当係	
10	5	8			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	小垣江市民センターの利用団体である市民が、日頃の学習成果を発表・展示することで学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図るため、必要性の高い事業である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	小垣江市民センターの利用団体で構成される実行委員会に委託し、活動の充実・活性化を図り、学習意欲の一層の向上や参加促進を行い、効率的な運営を行っている。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	学習成果の発表の場の提供など市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	普通	学習発表会を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、学習発表会を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名 一般会計			施設管理事業				担当部	教育部			
款	項	目					担当課	小垣江市民センター			
10	5	8					担当係				
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	生涯学習								
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進								
	目的	生涯学習施設（小垣江市民センター）として維持管理に努め、利用者の利便を図る。			主たる内容	施設利用に係る受付事務、施設清掃、各種設備機器の日常・定期点検を通じて、施設の適正な維持・保守管理を行う。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画								
		根拠法令	社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例								
		対象者	市民		事業期間	昭和61年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画			
		・小垣江公民館利用者数 20,230人 ・施設利用率 31.8%		・小垣江公民館利用者数 8,886人 ・施設利用率 23.1%		・小垣江公民館利用者数 13,332人 ・施設利用率 30.1%		・小垣江公民館利用者数 15,000人 ・施設利用率 33.0%			
成果		身近な学習施設である小垣江市民センターで、年代を問わず公民館利用者が気楽に利用できるよう住民の利便を図り、生涯学習の場を提供できた。新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を行い安心して利用できるようにした。									
課題		公民館利用団体の中で、団体数及び会員数が減少しており、施設見学者などに既設のサークル活動を広報して参加を促すなど、公民館利用者を増やす取組が必要である。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度			
成果指標		小垣江公民館利用者数（人）			20,230	8,886	13,332	15,000	21,000		
成果指標		施設利用率（%）			31.8	23.1	30.1	33.0	37.0		
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、施設管理コストの削減に努め、また、積極的に利用者からの意見収集に努め、適切に対処することで、よりよい施設環境の提供を行っている。									
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費①		12,507	13,237	13,626	14,085	合計	13,626,099円			
	財源	特定財源	1,382	975	1,246	1,453	需用費	3,056,014円			
		一般財源	11,125	12,262	12,380	12,632	役務費	124,665円			
	職員人件費②		4,698	6,346	6,057	6,060	委託料	10,247,420円			
	総事業費（①+②）		17,205	19,583	19,683	20,145	使用料及び賃借料	144,100円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称					
3年度までの累積事業費		0		市民センター使用料							
5年度以降の事業費見込		0									

会計名		施設改修事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	小垣江市民センター		
款	項					目	担当係		
10	5	8							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	経年劣化や老朽化により不具合が生じている設備等を改修し、施設の長寿命化と利便性の向上を図る。			主たる内容	○屋上防水改修工事 ○空調設備改修工事 ○電話設備更新工事			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	社会教育法、市民センター条例、公民館条例						
		対象者	市民		事業期間	令和3年度 ~ 令和3年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・エレベーター更新工事（FM事業）		・駐車場改修工事		・屋上防水改修工事（FM事業） ・空調設備改修工事（FM事業） ・電話設備更新工事		_____	
成果		・屋上防水を改修したことで雨漏りが改善されたと共に施設の長寿命化が図られた。 ・空調設備と電話設備が改修・更新されたことで不具合が解消され利便性が向上した。							
課題		老朽化が進んでいる換気設備の改修ができなかった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
成果指標	工事件数（件）			1	1	3	-	-	
指標									
C 事業コスト	他市との比較検証								
	単位：千円	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
財源	事業費 ①	17,237	2,776	32,995	0	合計	32,995,050 円		
	特定財源	0	0	15,000	0	工事請負費	32,995,050 円		
	一般財源	17,237	2,776	17,995	0				
	職員人件費 ②	1,925	1,867	2,877	0				
	総事業費（①+②）	19,162	4,643	35,872	0				
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
	3年度までの累積事業費		0		公共施設維持保全基金繰入金				
	5年度以降の事業費見込		0						